

流星 第24号(OB会誌11号)

目次	題字 河村先生(元部長)	
	イラスト 伊東(子44)	
巻頭言	部顧問 平木 准教授	2
所感	会長 木村(機36)	3
新主将挨拶	新主将 穴井(機2回生)	4
新OB会担当挨拶	OB会担当 茶堂(機知能1回生)	4
新入部員挨拶		4
自動車部 23年度活動・会計報告		
2012 第50回 KIT Night ラリー詳細	ラリー委員長 原	6
OB会 24年度活動、交流会報告、25年度活動計画	事務局 中西 (加50)	7
OB会・24年度会計報告、25年度予算案	会計 武地(機II 51)	8
OB会 会計監査	会計監査 田中(化45)	9
特別企画1;地区幹事と自動車部(自動車)		11
青春時代のひとこま	九州地区副幹事 柴田(化45)	11
私と自動車部	関西地区副幹事 山崎(電49)	12
自動車部の思い出と感謝・お礼	中京支部副幹事 河野(制49)	13
いつかはクラウン	関東地区副幹事 宮崎(機39)	14
特別企画2;城先輩の手紙		15
川崎先輩ご逝去	九州地区副幹事 山本(制46)	17
会員名簿、物故者名簿		18
編集後記		19

## 震災当日



部顧問 平木 准教授

震災の起こった当日、私は自宅にいた。もちろん北九州である。その日は東京へ出かける予定で、専門家による委員会に参加するため有給休暇を取ってあった。だが、翌日の土曜日にも入学試験のために朝から出勤しなければならなかったため、日帰りする必要があった。委員会が長引いたとしても、夜の11時羽田発の北九州行き飛行機もあるので特に問題はない。だが、翌々日の日曜日から欧州出張も控えていたせいもあったのか、どうしても気が進まず直前まで迷った挙句、予定をキャンセルして断りの連絡を先方に入れた。休暇を取ってあったので、そのまま自宅で過ごすこととした。午後になって、流していたTVから臨時ニュースが聞こえてきた。東京で地震があったということ、付近のビルで火災が発生しているとの一報で、煙を立ち上げている映像が流れてきた。そのうちに、あちこちで煙が上がっている映像も出てきた。そのときはそれほど大事とは思わなかった。しかし、どこかの天井が落ちた、などの一報も入ってきて何やら慌ただしくなってきた、これはかなり大きな地震だったのだとわかった。そうこうするうちに、津波警報が画面にテロップで流され始めた。私は比較的海に近い環境で生まれ育ったが、津波で避難をした経験は一度もない。だから、津波が来たとしても若干の海面の上昇が確認されるだけで、警報通りなどということはないだろうと高をくくっていた。しかし、実際は皆さんがご存じの通りである。もしも私があの場合にいて、しかも仕事をしていたら、警報を無視して働き続けていたのは間違いない。つまりは、津波の犠牲になっていたはずである。そんなことを考えながら、テレビの画面に貼り付

いたまま動けないでいた。衝撃的だったのはNHKのヘリからの中継で、津波が平原を延々と遡上していきながら次々と家や車が津波に飲み込まれる様子が生々しく伝えられていたことである。その中継にはヘリの音しか入っていなかったせいか、かえって恐怖が感じられた。津波は車よりも速い。車では逃げきれないことがはっきりと映し出されていた。もしも、あの場を自分が車で走っていたとしたら、津波が身近に迫っていることをどうやって知ることができただろうか？仮に津波の接近を知ったとして、車を捨てて高台へ逃げるといった判断を瞬時にできただろうか？そんなことができるとは到底思えなかった。そんなことを思っている間にも次々と車が飲み込まれていて、人的被害は甚大であることは疑いもなくなった。もはや祈るしかなかった。茫然としながらテレビの前からなかなか動くことができなかった。これが震災当日の私の行動である。さて、もしもその日予定通り委員会に出ていたらどうなったか？委員会の最中に地震が発生し、交通機関がマヒしたためその日のうちに帰ることはおろか、その場からの移動もままならず、ほとんどの委員が会議室で一夜を明かしたそうである。こんなことが起こると思って予定をキャンセルしたわけではないが、翌日の出勤と翌々日からの海外出張を無事に果たすことができた。しかし、心に何か負い目を感じている。あの日、多くの方が犠牲となった。だが、自分は家にいてテレビを見ていただけだ。偶然とはいえ、混乱から身を遠ざけていた。震災で犠牲となった方のご冥福を心から祈りたい。

了

## 第 2 回KITAC現役・OB交流会に参加して



自動車部 OB 会会長 木村(機 36)

9月22日に開催された首記交流会に初めて出席した。この交流会は現役世話役 坂元主将、原ラリー委員長、穴井OB担当他の皆さんで準備され、現役側 14名、OB側として中西事務局・現役交流担当役員他 9名が参加した。

交流会は「戸畑生涯学習センター」で 14時から開催され、第一部「KITAC部活動の活性化に向けた座談会」、第二部は席を改めて「懇親会」とし、交流と情報交換、懇親の実を挙げる事が出来た。座談会の詳細については担当役員から報告があると思われるので、私が感じたことについて触れてみたいと思う。

今回の交流会に参加した目的の一つは、会長として現役の皆さんと親しく話をして現状をより良く理解したいこと、更に、部活動の活性化に向けての意欲と取り組みの実態を把握して、今後の支援への指針としたいと考えたことです。

これまでの報告からの理解では、部員の減少とそれに伴う積善会部費の減額が急速に進んでいて、この対応が急務であると思われます。報告によると、今年は4月の体験入部でこれまで通りのフィギュア運転体験の外に、実際にカートに乗って走る体験をさせる等熱心な勧誘の成果もあって、6人の新入生が入部し、16名の部員が在籍することとなり、責善会部費も昨年以上の増額が認められたとの事。しかしながら出費がかさみ、とても余裕が出来たとはいえない状況に変わりはないとの事。この件に関しては、現役部員も真剣に取り組んでいることが良くわかり、今後の更なる部活動の活性化に向けて、OB会として緊密な連携を取りながら対応していく必要があると思われる。すなわち現役側の支援要請には 1)資金面での援助、2)部活動遂行上の人的支援、の 2面があり、このそれぞれに対しどのように対応できるかが問われている。1)については、OB会費

徴収と同時に、任意の部活動援助費を集めて支援しているが、これは主として部活動予算の毎年度の赤字補填的な支援と考えられるが、「多々益々便ず」方式でいいのか、毎年一定額の計画的募金が出来よう考えてみる必要があるのではないかと。一方、SA車の問題を含め、突発的、且つ纏まった金額の支出を余儀なくされる事態も想定される。この両面に対応するためには、現役、OBの更なる緊密な相互理解と連携をベースに、毎年の計画的援助費募金が出来ないか検討してみる必要があると思う。もちろん部活動費の詳細、且つ広範囲な情報公開は難しいと思われるので、現役とOB会の現役交流担当役員で折衝し、OB会役員会に諮って年度ごとに予定金額を設定し、予定金額の設定根拠、目安の援助単価、人数を明示してお願いする方式は如何であろうか。2)については、現在も一部のOB会員の献身的な支援が行われて、部活動の活性化に貢献しているが、現役、OBの交流の一環として、主として九州地区のOB会員による支援のための連絡窓口、連絡網の構築が出来れば、より効果的な支援に繋がるのではないかとと思われる。

以上、感じるままに述べてきたが、現役支援強化への一提言になればと思います。

私も6月に75歳の誕生日を迎え、免許証更新の手続きに行き、認知症のテストを受けました。幸い問題なく更新を済ませましたが、有効期限は3年ほどになりました。直後に高速道路で34キロメートルの速度違反で反則キップを切られ、2万5千円の反則金を支払う羽目になりました。実に50数年ぶりの反則でした。これも高齢者は無理な運転をしないよう、天が警告してくれたと前向きに捉え、好きなゴルフ(年180回)で体を鍛えて、若い人たちの負担にならないように心掛けています。了

注； 24年度の部活動援助費は、藤田先輩を始めとする皆さんから多額のご支援を頂き、例年の3倍の資金が集まりました。ありがとうございます(会計報告を参照)。会長からご提起いただきましたが、支援の額の安定化、適正化のため、皆様からの引き続きのご支援をお願いいたします。 OB会 会計 武地



### 3. 茶堂 (機械)

私が自動車部に入部したのは、小学生のころからF1やSuper GTなどのレーシングカーに興味をもっていただけからです。大学生になってからでないと出来ないことをやってみたく、また自動車部に入ったら、車のさまざまな知識を学べると思い、入部

しました。

今年は新入部員が多いので、さまざまなことにチャレンジして活気のある部にしたいと思っています。

### 4. 福田 (機械)

自分が自動車部に入部しようと思った理由は、幼い頃から自動車関係の漫画や映画が好きだったので、自動車部に入り自動車のことに詳しくなり、レース等に参加できるくらいに運転がうまくなりたいと思ったからです。

なので、自動車部のラリーの活動や各種レースのオフィシャル参加はキツイときもありますが、

色々なお話や体験をさせていただけるのでとても楽しいです。

将来的には、ジムカーナをやりたいと感じており、上位に入賞できるようになりたいと思っています。これから色々とお世話になるとは思いますが、頑張りますのでよろしくお願いします。

### 5. 増谷 (総シス)

自分が自動車部に入りたいと思った理由は、もともと車が好きだったからです。自分は車にかぎらず動く機械全般が好きで、大学に入ったらそういうクラブに入りたいと漠然と思っていました。

大学のサークル紹介を見ていて、自分の好きな車をさわられてとても良いと思い、このクラブに入りました。自動車部で車を自分でメンテナンスできるだけの経験と知識を手に入れたいです。

### 6. 松邨 (機械)

私が自動車部に入部した理由はレースに興味を持っていたからです。ジムカーナやラリー、ダートラなど、様々なレースに参加していい成績を残せ

たらと考えています。そのためにも、まずは自分の車を持ち、整備のしかたについてもこれから学んでいきたいと思っています。

### 7. 松本 (機械)

私が自動車部に入部した動機は、新しい趣味を見つけたいと思ったからです。また、工業大学に入学したので機械をいじってみたいという気持ちもありました。

先輩方の整備を手伝い、多くのことを学びたいです。

また一年の部員が多いのでお互い切磋琢磨しあって頑張っていこうと思います。

---

## — 自動車部 2012 年度活動・会計報告 —

3月 追い出しコンパ

宿 (モビリティおおむた)

4月 入学式・部員勧誘

9月 旅行 (大分)・現役・OB 交流会

5月 全九州学生ダートトライアル大会・  
2012 ACK SPRING ラリー

10月 秋季全九州学生ジムカーナ大会

6月 春季全九州学生ジムカーナ大会

11月 第50回 ACK・KIT ナイトラリー・工大祭(たこ焼き屋)

8月 2012 ACK Summer ラリー・自動車部強化合

12月 学内マラソン・忘年会

## 2012年 第50回 KIT NIGHT ラリー詳細

九工大 自動車部ラリー委員長 原



2012年11月3日～4日に開催しました第50回 ACK・KIT Night ラリーが無事に終了しましたので、報告させていただきます。

大分県日田市上津江にあるオートポリスを中心に上津江・中津江・前津江の林道を使用して、総移動距離120kmのラリーを開催させていただきました。

今回の参加台数16台で学生選手権もかかっており学生から5台参加していただくことができました。

今年は7月末の九州北部豪雨により多くの林道が被害を受け、使える林道が少なくコース作成の時に苦戦しましたが、当日はスムーズに競技の進行ができました。

1st ステージでは、オートポリスのレイクサイドコースを使用して、SS ラリーを行いました。

2nd ステージでは、林道を使用した計算ラリーを行いました。今年は事故もなく選手のみなさんに好評をいただきました。

今回のラリーを開催するにあたり徳尾さんをはじめとする ACK の皆様には、全面的協力をしていただき、ありがとうございます。また OB の皆様も事前の準備から協力していただきありがとうございます。

今年で50回を迎えた ACK・KIT Night ラリーを60回70回と続けていき九工大自動車部を盛り上げていきたいのでよろしくおねがいします。

## 平成24年度工学部自動車部決算報告

23.10.1～24.9.30

収入	金額	支出	金額
九州工業大学		大会参加費	
OB会援助		維持費等	
OB総会援助		エルフ車検代	
部員負担		部車維持費	
KIT Night ラリー		KIT Night ラリー	
		平成25年度へ繰越	
合計		合計	

## 平成 24 年度活動報告(H23/10-H24/9)

OB 会 事務局 中西(加 50)

### 【上期活動報告】 (OB 会員敬称略)

- H23/10/21 :OB 会事務局最終引継ぎ(岡山グランビアホテル1Fにて:元会計・事務局 嘉村/中西)  
10/21 :大学学生係との部活動状況打合せ(工学部 事務長補佐 兼学生係長 武谷様/中西)  
10/22 :現役幹部との部活動改善打合せ(工大食堂にて:現役幹部 岩田、渡辺、飯田、八尋/中西)  
10/22 :【総会前役員会】 ”役員会議事録”参照  
10/22-23 :【平成 23 年(第 6 回)OB 会総会】開催(九州地区主催)  
11/5-6 :第 49 回 KIT ナイトラリー現役支援(JAF 公認九州 Jr.シリーズ)  
12/17 :現役からの部車(ナンバー付き:SA車)入手支援要請検討開始  
12/20 :流星 23 号発行  
12/24 :関東地区忘年会(鳳龍倶楽部にて:古場、木村、佐伯、門司、宮崎、中西、武地、坂井、安永、  
近藤、早田、楨本、太田、島原、計 14 名)  
12/29 :関西地区忘年会(神戸元町/東亜食堂にて:中原、橘、木庭、田中、山崎、中西、計 6 名))  
12/30 :餅つき会(徳尾モータースにて:現役との交流)  
H24/1/10 :会則見直し検討委員会キックオフ(木庭、門司、伊東、川越、武地、中西)  
3/中 :NOK クリューバとKIT・ACKとのスポンサー仲介(近藤)

### 【下期活動報告】 (OB 会員敬称略)

- H24/6/24 :関東地区 OB 会準備会(銀座えんにて:木村、門司、宮崎、中西、武地、早田 計 6 名)  
9/20 :部活動援助費送金⇒OB 会会計から\*18,000 円(武地)  
9/20 :現役との交流会費送金⇒OB 会会計から\*0,000 円(武地)  
9/22 :NOK クリューバ(スポンサー)と現役との情報交換会仲介(工大講義室にて:現役 14 名、OB3 名)  
9/22 :現役・OB交流会/懇親会(戸畑生涯学習センターにて:現役 14 名、OB7 名)

---

## 現役・OB交流会開催

中西(金加 50)

2012年9月22日(土)、北九州市戸畑区の戸畑生涯学習センターにおいて、「KITAC ”部活動の活性化に向けた”座談会」が、現役との交流会として開催されました。OBは木村会長をはじめ7名、現役はほぼ全員の14名で、出席者は合計21名でした。

座談会は、穴井OB担当(2回生)が進行役となり、当日資料に基き進められました。

これからの部活動をさらに活性化するための活発な意見が出され、色々と課題はあるものの中身の濃い充実した座談会となりました。

### 【座談会テーマ】

- ①自動車部の現在の活動報告
- ②部員数増加について
- ③責善会部費増額について
- ④部車(SA車:ナンバー付き車両)確保について
- ⑤現在の自動車部の課題
- ⑥部活動支援のスポンサー確保報告

※ 詳細は、当日資料「部活動の活性化に向けた”座談会(現役作成)」を参照願います。

座談会終了後、場所を懇親会場に移し、世代を越えた現役とOBの気さくな親睦の場として盛り上がりました。皆様、大変お疲れ様でした。



【補足；現役の主要課題】

1. 少ない部員数；現在の1回生を除いて10人と少なめ。部員数増加のために、4月に新入生を対象にカート走行、フィギュア体験を実施。結果、7人の1年生が入部。
2. 責善会支給部費増額；部員数の増加、事務局との交渉、体育会役員を輩出の結果、増額された。
3. 部費は殆どがエルフの維持費（含む車検代）に消費 など

平成 25 年度活動計画(案) (H24/10-H25/9)

OB 会 事務局 中西(加 50)

【上期活動計画】 (OB 会員敬称略)

- H24/11/3-4 : 第 50 回 KIT ナイトラリー現役支援 (JAF 公認九州 Jr.シリーズ)
- 11/ 11 : 【平成 25 年(第 7 回)OB 会総会】(中部地区主催) 第 1 回実行委員会開催(キックオフ)
- 12/ 中 : 流星 24 号発行
- 12/ 末 : 餅つき会 (徳尾モータースにて: 現役との交流)
- H25/1/ 12 : OB 会関東地区新年会(親睦会)
- 1/ 26 : 【平成 25 年(第 7 回)OB 会総会】(中部地区主催) 第 2 回実行委員会開催
- 3/ 末 : 部活動援助費送金

【下期活動計画】 (OB 会員敬称略)

- H25/4/ 上～9/ 下: 現役との交流会費送金
- 4/ 上～9/ 下: 現役との交流会開催
- 4/ 上～9/ 下: 【平成 25 年(第 7 回)OB 会総会】(中部地区主催) 実行委員会開催
- 9/ 末 : 部活動援助費送金

OB 会 24 年度会計報告、監査結果、25 年度予算(案)

OB 会 会計 武地(機 II 51)

24 年度会計報告

皆さんのお陰で例年の3倍の援助金が集まりました。会長の所感、現役のコメントにもあるようにどのように支援していくかを更に議論し、計画的かつ安定した支援の必要があります。皆様からの継続的なご支援をお願いします。

24 年度			
収入		支出	
前期繰越		振替手数料	
会費		総会準備費	
部活動援助費		24号印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
総会余剰金		事務、通信費	
		交通費	
		現役との交流費	
		部活動援助費	
		次期繰り越し	
合計			

## 会計監査報告

会計監査 田中(化45)

今年度の自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などの精査をしました。  
決算報告は、適法・適正に処理されていました。


**会 計 監 査 報 告 書**

平成24年11月7日

明専・九州工大自動車部OB会  
会長 木村知幸 殿

平成24年11月7日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する  
帳票・領収書などを精査しました。その結果平成 24 年度の  
決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中直方 

## 25 年度OB会予算(案)

### 【考え方】

- ・会費は2年分をまとめて集めているので、多くの方が24年度中に払われており、25年度は少数と予測される。
- ・部活動援助費は、24年度は、23年10月の総会で皆さんに協力を呼びかけた効果があり、例年の約3倍が集まった。今年は、反動で半額と見積もった。
- ・支出欄の部活動援助費は、OB会内部留保を取り崩し、20万円を予定。そのため、次期繰り越しが、直近3度で最低レベルとなる。今後、現役への支援を現状レベルで維持するためには、収入の増加が必須。会員各位のご協力をお願いします。

25年度(案)			
収入		支出	
前期繰越		振替手数料	
会費		総会準備費	
部活動援助費		25号印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
総会余剰金		事務、通信費	
		交通費	
		現役との交流費	
		部活動援助費	
		次期繰り越し	
合計			

OB会 会費、部活動援助費、OB会カンパ振込状況

皆様のご理解ご協力に感謝します。OB会会費は、2年に一度\*,000円です。その他は毎年募集。

平成24年度 振替口座

No	口座月日	科	年	氏名	会費	部活援助費	OB会へ	合計
1	11月1日	機械	25	松尾				
2	11月9日	金属	37	門司				
3	11月10日	工化	35	山口				
4	12月12日	機械	29	城				
5	12月20日			鞍馬				
6	12月21日	制御	58	島村				
7				林田				
8		開土	45	八木				
9		機械	23	舛谷				
10	12月22日	電子	46	中野				
11		機械	25	中野				
12				芳賀				
13		電気	39	松本				
14	12月24日	機械	H15	村井健				
15		制御	46	山本				
16		電子	44	伊東				
17	12月26日	機械	23	紀田				
18		電気	44	藤田				
19		金加	50	中西				
20		鉦山	36	香月				
21		機械	36	飯田				
22		機械	H13	山ノ口				
23		機知	H17	犬丸				
24		機械	52	坂井				
25		機械	48	古本				
26	12月27日	電気	43	宇塚				
27		機械	39	宮崎				
28		金属	53	八木				
29	12月28日	機械	25	白石				
30		電子	54	早田				
31	12月31日	機	51	武地				
32	2012年1月4日			塚田				
33		金属	55	孝橋				
34		金属	59	大井				
35		機	54	山下				
36	1月5日	鉦山	33	斉藤				
37		電気	49	山崎				
38		制御	54	近藤				
39		化学	33	柏木				
40	1月10日	機械	39	中原				
41		金加	48	高見				
42	1月11日	化学	23	青木				
43	1月12日	化学	33	嘉村				
44	1月16日	電子	52	安永				
45	1月19日	機械	46	佐藤				
46	1月24日	制御	48	泡田				
47	1月27日	機械	43	木庭				
48	1月30日	制御	H1	谷口				
49	2月1日			松原				
50	2月1日			山下				
51	2月2日	機械	49	堀川				
52	2月7日	制御	48	小泉				
53	2月8日			上妻				
54	2月15日	機械	35	進藤				
55	2月28日	機械	33	古				
56	3月2日	機械	54	舛重				
57	3月5日	制御	40	木田				
58	3月8日	鉦山	30	中島				
59	3月28日	電子	44	井上KAZ				
60	4月3日	電気	46	新開				
61	4月5日	制御	49	河野				
62	4月19日	機械	50	佐伯				
63	8月2日	テ	32	安光				
64	9月24日	化	47	川越				
		小計						

参考;

平成25年

1	11月2日	化	45	田中				
2	11月26日	金加	50	中西				

## 青春時代のひとこま

九州地区 副幹事 柴田(化 45)

すでに 45 年以上の歳月が流れてしまった。私が九工大に入学したのは、昭和 41 年の桜が咲く 4 月であった。

明治の建築界巨匠といわれた辰野金吾が設計した本館にて、健康診断を受けた記憶が蘇ってくる。床がギンギンと音がする古色蒼然とした風格ある木造建築でした。今、話題となっている東京駅を設計したあの辰野金吾と明治専門学校の繋がりを、恥ずかしながら、最近になって、知ることとなりました。明治という時代、自国の隆盛を願い、浄財を投じて明治専門学校の設立に奔走された安川敬一郎、松本健次郎父子の姿に心揺さぶられ、明治専門学校の設計を願い出たということである。(無論、無償による申し出である。明治人の心意気に触れる思いがします。又、明治学園の創設は、明治専門学校の教授の子弟を教育するために造られたものであることも、最近、知りました。)明治に造られた木造の学寮群が、昭和の時代、寮として、部室として活用され、自動車部の部室も、その一つであった。当時、伊藤先輩(昭和 40 年入学:主将)が、主(あるじ)として住まっていた。ある日、伊藤先輩が、部室の前で七輪の上に秋刀魚を載せ、パタパタとうちわを扇いでいる姿を見つけた。これ幸いと舌鼓し、お酒と共に頂戴したことを懐かしく思い出します。明治の匂いがぶんぶんする学寮の一角で、部員達が主(あるじ)の迷惑も顧みず、休講といったは暇を潰しに部室へと押しかけていましたね。迷惑千万だったと思いますが、なすがままにという風情で優しい先輩でした。その後、伊藤先輩、同級の田中、更に、山本と引き継がれました。この自動車部の部室は、今は、影も形もありません。

休みを利用した山陰、北陸遠征は、思い出深いものでした。自動車部の制服(紺色のジャンパー)を皆で新調、

いざ、遠征へ…という高揚感が溢れてました。誰がデザインしたのでしょうか?なかなかお洒落なものでしたね。鳥取砂丘の浜辺で、波うちぎわの固くなった砂浜を波しぶきをあげながら、アクセルを思い切り踏み込んだあの爽快な気分、北陸能登半島の海岸沿いの道が、えっ、これが国道なの?狭い曲がりくねった悪路にぶつぶつ言いながら目指した金沢、雪の兼六公園、坂の急勾配を走る電車、趣ある街並みでした。思いだしても、北陸遠征は楽しかったなあ〜。

私が、自動車部へ貢献できたのは、何だろうか?ナイトラリーで、タイガー計算機を回し続けたことか?

違います。お金集めに貢献したことでしょうか。当時、自動車購入の金策として、ダンスパーティを主催し、出来る限り券を売りまくり、収入源とすることでした。キャバレーを借り上げ、必要経費を抑えるべくコスト削減交渉、そして優秀な販売員として、恥をかなぐり捨てて某女子大へと飛び込み営業に走り回ったこと、流星号を出版するため、広告料集めに近隣商店へ頭をさげ、出版費用捻出に一役かったこと、流星号の編集に関わったことが思い出されます。

もう、あれから45年、あっという間に歳月が流れました。振り返ると、いろいろとありましたが、まあまあ、いい人生だったと思っております。欲張りな私は、これから先も、そう言えるように、幸運の女神をお願いしております。最後に、皆様がたのご健康とご幸運をお祈りして、拙い文にお別れと致します。

ありがとうございました。

追記:

昨年の自動車部 OB 総会の実行委員長で活躍いただいた川崎先輩が、今年の春、ご逝去されました。

心からご冥福をお祈りします。

=====

## 私と自動車部

関西地区副幹事 山崎(電気 49)

### 1. 自動車部の思い出

2週間程前、近所の道路を 25 歳の我が家の末娘の仮免許の路上教習につきあいながらの会話です。最近は何で自動車学校の車以外の路上教習は減多にみかけませんが、前々から娘にお父さんは自動車部出身だから教えるのがうまい筈なので、卒業試験の前には付き合っって頼まれていて断りきれずに手作りのプレートを車の前後に付けて恐る恐るやってみました。(お陰で娘は先日、卒業検定を合格しました)

その時、若いときの様々な思い出がよみがえってきました。

「お父さんは、大学一年の時に隣町の小倉にある免許試験場に 16 回も通って苦労して合格し、ようやく免許証を貰った。それだけに免許のありがたみが他の人の何倍もあるんだよ。お陰で一年の夏休みは免許取得と大阪万博で終わってしまい、他の思い出が無いくらいだよ。」

自宅が戸畑で、自宅通学でフリーな時間が結構あるため何気なく入った自動車部ですが、その後の私の人生に本当に多大な良い影響を頂きました。

免許取得、タイガーの手回し計算機によるラリーのナビ、遠征参加、あしなが育英会の募金活動(動機は少し不純なところもありましたが)、部の運営資金の足しにするためのエルフによるバイトや学園祭でのおでん屋の徹夜での見張り、部室での明トラ、チームKITちゃんという部内のチームでコルトのラリーカーを共有し活動したこと等々と懐かしい思い出は数え切れない程ありますが、やはり先輩・同期・後輩で、同じ部車に乗り継ぎたくさんの共有できる思い出が持てたことが一番の収穫だと思います。この部車を共有した思いから良好な縦の関係が維持されOB会の総会が盛況の内に継続されていると思います。

### 2. 2009 年関西地区総会の思い出

まだ仕事の現役中でありましたが、総会事務局を担当させていただき、51名という多くの方に参加頂き大成功に終わったことは大変いい思い出となっています。準備の過程で 30 年ぶり、40 年ぶりに声を聞き、懐かし

がったり、「定年まで海外で頑張るから参加できない」という知らせを受けたり、多くの感動を体験できました。準備には関係者 10 名で少ない人数ながら結束してカバーし合い、木庭さんのリーダーシップと古河さんの緻密さでなんとか無事開催にこぎつけたことは大きな喜びです。

又、皆さんと連帯感を深めることができ協力して、引き続きお付き合いしていただき、人生の糧となっており、大変助かっています。

私は 7 年前の愛知、5 年前の熱海と参加させてもらい、出席者の皆さんから多くの元気を貰いました。特に初参加の皆様が「参加して良かった、次も又会おう」と言ってもらえたのが、私ども事務局一同にとって大変嬉しい言葉でした。

### 3. 愛車の思い出

大学一年の終わりに卒業する先輩からホンダN360を5万円で譲り受け日本中走り回ったのを皮切りに、その後、親に借金してニッサンチェリーを20万円で手にし、卒業後親に月賦で返済しました。その後4年間は大阪市内の独身寮で車を持たず、業務で南米アルゼンチンに駐在し現地組立てのフランスのプジョー504に3年間、中米グアテマラでトヨタパブリカに1年間乗り、30歳で日本に戻り、海外勤務で当時は1ドル240円程度のため多少リッチとなり、当時としては最先端のターボ付き三菱コルディアの新車をキャッシュで買えました。その後家族を持ってホンダシビック、トヨタカルディナ、マツダデミオ、ベンツC200と乗り継ぎ、今は家内のリクエストでVWのビートルに似ているということで黒のニッサンマーチに乗っています。家族を持って以来、自動車部出身にしてはメーカー・車種にこだわらずにきてしまいましたが次は終(つい)の車になりそうなので、今度こそはこだわりを持って何にしようかなと検討している所です。近い将来どのようなハイブリッドカー、電気自動車を実現するかも興味津々なところですよ。

### 4. 終わりに

30代、40代は仕事と家庭に追われ、過去を顧みる余裕がありませんでしたが、昨年、勤めていた電器メーカー

を定年で辞め、少しは時間に余裕ができました。いまだに自動車関係・モータースポーツのニュース等が気になり、家族から「そんなに好きだったら、なんで、自動車メーカーに就職しなかったのか？」とまだ言われ続けています。ほんの一部の人を除いて、好きなことをして食べて生けるほど人生は甘くないと家族には答えています。自動車部に入っていて本当に良かったと思います。

今年の4月に関西地区のOBの歩こう会に、デビューさせて貰い、諸先輩に導いて頂き、京都の御所の公開日ということで人生初めて訪問することができ、日本人に生まれてきたことの再認識をし、貴重な体験をさせても

らいました。この縁を大切にして引き続き宜しくお願いしたいと思います。 以上



=====

- 特別企画1;地区幹事と自動車部(自動車) -

## 自動車部の思い出と感謝・お礼

中京支部 副幹事 河野(制御 49)

制御S49年卒業、部活では、主将・監督を務めました。いつも、仲の良い先輩・同僚・後輩と一緒に、ラリー、フィギュア、構造、など。自動車学校に行かずに、免許が取れると言う魅力にひかれ入部。試験場に行き、筆記試験通れば、2回実技試験を受けられる。10回程の実技試験で、合格をした。

部の資金調達として、ダンスパーティの主催も行った。遠征も、楽しかった。仲の良い先輩・後輩及び、同期のメンバ。

マナーや運転の基本:先輩指導:『道路に入る時、横入りする時、絶対、後ろの車に、ブレーキを踏ますな。』徳尾三郎さんに、指導・支援を受けながら、KITラリーの開催。事前の試走時、腕のいいN君の運転の車がコースアウト:木に止められなければ、崖の下との思い出があります。

今年、第50回KIT Nightラリーの状況を聞き、継続は力:ACK・KITOBの方々に、支えられながら、継続をしている様子を聞きました。

当時の部のメイン活動はラリーで、学生ラリー、一般ラリーへの参加。車は、ホンダZ、コルト11F、カローラレビンで参戦:ナビは、先輩のKさん。

後半は、同僚・後輩と出場し、優勝含め、多くの賞を戴きました。卒業前の12月に、2回優勝、1回2位、1回4

位の好成績を覚えています。ナビはS君、カリはT君でした。

愛知県の自動車会社T社に入り、生産技術部門で、海外駐在も2回、計8.5年間。そして、関係会社の役員を含め、38年間、日本の自動車産業の発展・活動の中で、仕事が出来たことに感謝の気持ちと幸せを感じています。その起点になったのが、九工大自動車部です。その時の仲間と会え、過ごしたことが原点だと思っています。

明専会の活動が中京支部では活発で、今年の6月の総会では、180名が集まりました。

また、自動車部の来年の総会に向け、新城ラリーを目玉に出来ないかなど、準備を開始しました。ぜひ、多くの方々の御出席を願っています。以上、感謝とお礼の気持ちです。

写真は、当時、参戦したカローラレビンとクルーです。



## いつかはクラウン

関東地区副幹事 宮崎 (機 39)

私の自動車との関わりを考える時、やはり、50年前の九工大自動車部(1960.4~1964.3)に遡ることになる。当時、部車として、公道を走れるナンバー付の車が2台あった。

1台は、小型トラックのトヨエース。引越しのアルバイトで部費を稼いでいた。しかし、この車の最大の貢献は、車の構造を部員に教える実験台になってくれたことである。毎年、夏休みになると、車検を取る事を目標に、エンジンを降ろし、オーバーホールに全員が執りかかる、のである。バラバラに分解して、修理後、再組立てを行い、エンジンが起動した時の感動は、入学初年度の経験としては、大きなものであった。

もう1台は、福岡トヨタから、無償貸与という形で、供与されていたクラウンである。

クラウンの主たる用途は、ラリーという対外試合への出場であった。しかし、自動車部が非常に多くの部員を集めていた理由の一つは、部車を使って、校内で運転実技の指導を受け、近くの運転試験場で受験するという、運転免許取得への道があったからとも云える。

しかも、1960年に法改正が有り、実技試験がトラックを使っての時間内のコース切りから乗用車を使っての比較的長い時間の路上運転を模したものに変更になり、受験前にこのクラウンを使って運転指導を受け、S字バックを練習した。免許を取得し、恒例のぜんざいコンパをやると先輩のサポート付きで校外での部車の運転が許されることになる。先輩の公用外出に、如何にお供をして、クラウンの運転をさせてもらうかを競ったものである。

私の所有車第1号は、すずきフロンテ(360cc、3気筒、2サイクル、1967年)の新車で、子供の病院送迎用緊急車両の位置づけで、取得。(女房殿に感謝)今から35年位前に所有していた第2号車のコロナ1500(中古車)には、初代クラウンに搭載されていたものと同型式のエンジン(RS50?)が搭載されていることを知って、嬉しかった記憶がある。

この頃の車は、ボンネットを開けて、エンジンルームを

覗くと電気系統、燃料系統、冷却水系統、等の構造が解かり、始業点検等も運転の都度実施していた。時々、暖房が利かなくなり、エンジンからの冷却水戻りホースが繋がるラジエーター入口の温調用サーモスタットを取り外して、錆で動きが悪くなっているスプリングの掃除、修理もした。この冷却水戻りホースでは、大変なトラブルも経験した。西宮市在住で、京都へのドライブの帰り道、名神高速天王山トンネルを通過した辺りで、突如、バスッ!という音がして、フロントガラスに茶色の水が飛び散った。慌てて、道路わきに停車して、ボンネットを開けてみると、かの冷却水ホースが縦に裂けていた。ここからが大変。持っていたのは、広幅のビニールテープと4Lの水タンクだけ。このテープを巻きつけて、最寄りのSAにたどり着き、まず給水。しかし、テープが伸びて水漏れを完全に止められなかった。最寄りのICから一般道に降りて、石油スタンドをハシゴしながら、停車しては給水、を繰り返して、なんとか我が家にたどり着いた。奇跡。

その後、クラウン(中古車、1500cc、初めてのAT車)、カローラ(新車)、コロナ(中古車)を経て、1993年、待望のクラウンロイヤル(新車、3000cc)を手に入れた。クラウンのキャッチコピーに有る、「いつかはクラウン」に届いた瞬間であった。

(福岡トヨタの学生への小さなサービスがトヨタファンを育てるといふ大きな効果に繋がった一例)以後、3年毎に新車を乗り継ぎ、2005年に現在の愛車ゼロクラウン(クラウン生誕50周年記念特別仕様車3.0ロイヤルサルーン)に到達した。

自分の運転寿命と愛車の寿命とどちらが長い競争中である。

ただ、残念なのは、クラウンに到達以降、ボンネットを開けても、どうなっているのか、さっぱり解からないことである。現在は、バッテリー液のチェックも不要となり、当然のことではあるが、始業点検等は、この20年やったことが無い。

「私、車に乗る人」になり果てました。以上

### 城先輩からの手紙

H23年の九州地区でのOB会総会にご出席できなかった城先輩から実行委員長の川崎先輩に届いた手紙です。九工大の歴史が判る史料価値が有り、また城先輩からのご認可を受けたのでそのまま掲載します(同文が

HPにも掲載されています)。

手紙を流星に掲載することをご提案いただいた川崎先輩が先日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます。

H23.10.17

〒811-

福岡市

川崎 博久 様

〒485-

小牧市

城

TEL & FAX

同窓会ご案内のお手紙を頂きながら 大変ご無沙汰いたし申し訳ありません。

暫く体調不良で ぐずぐずしていましたが、本日医者を訪ねて、先に受診していた健康診断の結果を聞いてきましたが、年相応の状態だと判定でした。(数年前から心臓弁膜症で手術も勧められましたが、リスクもありますので現状維持です。)

私 老人になってから急に体質が変わり ひどい薬アレルギーになりましたので 薬のお世話にならないですむような生活を心がけています。

外食も何かトラブルが起こった場合薬を飲めないの、食事を伴う会合は golfなども含めて 総て避けるようにしています。

博多には法事で帰ることがありますので 機会があれば皆さん方にもお目にかかりたいと思います。

由緒ある工作機械が屋外展示になったのは新聞で知りましたが、100周年事業計画中の頃、これらの機械を大切に取扱っていただくよう大学にお願いしていたのですが結果は悪いほうになってしまいました。

屋外で使われる自動車、航空機、鉄道車両 などでも屋内展示保存が主流ですが、温度管理された室内で大切に使用される精密工作機械が屋外に置いてあるのは感覚的にもなじみません。学生食堂の隅でも良いから適切な案内表示付きで誰でも触れるように展示してもらいたかったものです。

新荘先生がおられたらこのようなおかしな展示にはならなかったと思います。

SIP のジグ中ぐり盤は 戦前の世界最高のもので 東京オリンピックより前の頃に 私はこの機械を造っている 米の工場を見てきました。 その他にも屋外展示してあるかと思いますが、開学時に設置された アメリカ、ワル、ワクス 製の機械は歴史的にも貴重な物です、この ATW 社は シンチ にあり 私の前勤務先の技術提携相手でした。



九州工大の SIP は S/N 416 で京都大学の同じ機械（多分大阪造兵廠から疎開工場へ移設されていたものと思いますが）は少し新しく S/N 643 です。京大で、明治 36 年頃に造られたレガ造りの機械工場を平成の時代になって解体する時に、この機械を貰い受けようと思いましたが、新工場の一番奥に据付けて大切に扱う事になり譲ってもらえませんでした。

ベルン工科大学では 正面入口から入ったガラス張りの回廊に沿って古い工作機械がたくさん展示してあり 羨ましい姿です。

さて送っていただきました葉書の copy は私が書いたのかも知りませんが、蒲田のスタンプになっていますので新荘先生にお願いして投函してもらったと思います（昭 34. 3. 16 は月曜日）。

この時の写真を探しましたが見つかりませんので、前年の OB 会（昭 33.02.09）の写真をお届けします。前列右から 松村氏、先生、溝口氏、後列右から 島氏、笠原氏、古場氏と私です。この寄せ書きに先生が書いておられるマスターを借りて乗っていたときの写真を同封しました、この後間もなく 先生はクラウンに買い換えられました。

私は シルバージュンと書いていますが、この スカーは先生から譲っていただいた物です。

私は 翌年最初の子供が生まれたときに中古の ダットソンを買いました。

退職後は安全をお金で買えるならと思ってベツの E クラスを買いました（簡素なデザイン、新構想のプラットフォーム、日本初のサイドエアバッグ付き市販車などで）。2 年前の写真と同封しました。

この車に 15 年乗りましたが タイヤ、バッテリー、ワイパーのゴム以外は交換することなくランニングコストは低く、立派に走りました。

未だ新車の輝きもありましたが、これから先の自動車との付き合いを予測して早目に次の車を買って、この夏に（子供たちが訪ねて来たときに気軽にハンドルをにぎってもらえるように）1ランク下の小さい C クラスに買い直しました。

今度の車には これから 15 年もハンドルをにぎる事は無いと思いますが。

たまたま 明日この古い車を引き取りに来ると言う日に、廣田さんから 仕事で名古屋に来たと電話があり、近くの駅まで来ていただいてお目にかかりました。この時が ラスト ランになりました。

私は昭和 25 年以来 自動車技術会の会員ですが、今月号の切り抜きをお届けします。九州工大でも学生フォーミュラに出ているようですが、ものづくりの楽しさ難しさなどが書いてありますので。

この手紙が OB 会に間に合えば 同世代の皆さんに よろしくお伝えください。

（写真は 袖を探さずにプリンターで copy しましたので 周囲が切れて色上がりも悪くなっています）

## 川崎先輩(ニテ 26)ご逝去

九州地区副幹事 山本(制 46)

平成 23 年の自動車部 OB 総会の実行委員長で活躍いただいた、川崎先輩がさる4月6日、急性骨髄性白血病でご逝去されました。86歳でした。

平成 22 年の春から約 2 年間実行委員長として実行委員全員を引張って活躍され平成 23 年の自動車部 OB 総会を成功させました。

会合は一日も欠かさず出席され、後輩の面倒見も良く敬服するばかりでした。

心からご冥福をお祈りいたします。

「明専会報 7, 8 月号の訃報欄」に掲載されましたので、ご存知の方も多いと思いますが、自動車部 OB の皆様に改めてご連絡いたします。

奥様のお話ですと、いつもお元気にお暮してましたが、鼻がむずむずして風邪かもしれないということで、病院に行き、精密検査ということになって発見されたそうですが、それから二週間で帰らぬ人になってしまわれました。

住所や電話番号を必要な方は、私宛に返信メールしていただければ、改めてご案内いたします。

\*\*\*\*\*

山本(46 年卒)

\*\*\*\*\*

## 中京地区平成 25 年の OB 会総会予告:

中京地区 幹事 川越

13 年 10 月 26~27 日を予定しています(新城ラリー日程により1~2 週の変更の可能性あり)。

地域活性とラリーが結びついたイベントである 新城ラリー(<http://www.shinshirorally.jp>) の見学やカート大会で「あゝころ(若き日々)を思い出していただく」をテーマに、企画中です。

宿泊は蒲郡周辺の温泉の予定です。

皆様の万障繰り合わせてのご参加をお待ちしています。まずは、カレンダーに日程確保をお願いします。

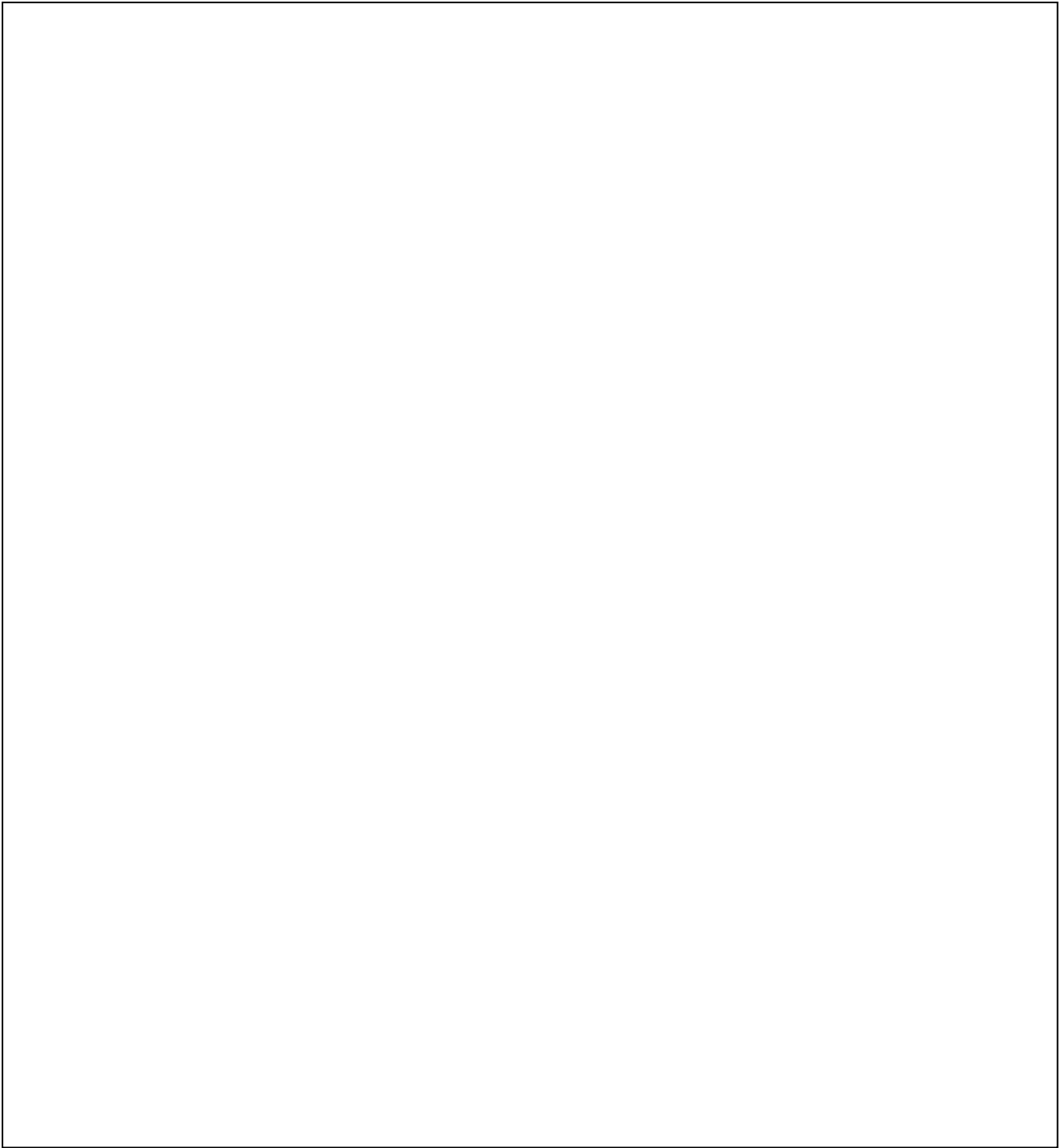
## 会員名簿

会員名簿は個人情報になりますので、お取扱にご注意をお願いします。

住所が空欄の方は、連絡方法がありません。ご存知の方が居られましたら、ご本人様に、流星担当 武地(19 ページに住所、Email アドレス掲示)に連絡していただくようお願いいたします。住所は、流星の配布やOB会からのご連絡に使います。住所の記録がある方でも流星が返送されます。皆様も連絡先変更をご連絡いただけると幸いです。また、郡・市も掲載を希望されない方はお申し出下さい。住所欄を見えないようにします。

九州工業大学会 責善会 自動車部OB会名簿(2012.11.29)

--



**【編集後記】**

政治の不安定、外交問題、震災復興、脱原発、円高、景気の低迷、異常気象などなど今のわが国には問題が山積である。12月16日には総選挙が行われる。第3極にも期待するが、今のところ、どの党または誰に投票すればよいのか判らない。ただ、近隣国とは平和的に理解しあえる国にしたい。(武)

発行日 平成 24年 12月 15日  
発行者 九州工業大学責善会自動車部  
主将 穴井  
明専・九州工大自動車部OB会  
会長 木村  
編集者 武地(機II 51)  
口座番号

明専・九州工業大学自動車部 OB 会  
九州工業大学責善会自動車部